

長崎大学職員の派遣について

1. 長崎大学病院国際ヒバクシャ医療センターの医師及び看護師の派遣について

文部科学省より長崎大学病院国際ヒバクシャ医療センター所属の医師ならびに看護師を放射線医学総合研究所（千葉県千葉市）への派遣依頼を受けました。内閣府原子力委員会より二次被ばく医療機関として認定されていることも踏まえ、本学職員を派遣することといたしました。

派遣する職員は以下のとおりです。また派遣する職員は本日中に長崎を出発する予定です。

大津留 晶（国際被ばく医療学准教授、医師、 チームリーダー）※

松田 尚樹（放射線管理学教授、放射線物理士）

熊谷 敦史（国際ヒバクシャ医療センター助教、医師）

吉田 浩二（看護師）

橋口 香菜美（看護師）

岩竹 聡（診療放射線技師）

※2～3日中に派遣予定

2. 長崎大学熱帯医学研究所教授の派遣について

本学熱帯医学研究所の山本太郎教授を今回の地震で被害を受けた地域に派遣することと致しました。特定非営利活動法人アムダと同行し、本日現地に向けて東京を出発することと致しました。山本教授はハイチ地震の際も国際援助隊の一員として、日本からの第1陣として現地に赴いた実績を有しております。

今回の派遣は、医師としての支援活動の他、今後の本学の支援方策を進める上での情報を把握する目的で進めるものです。

山本 太郎（熱帯医学研究所教授、環境医学部門 国際保健学）